

オプテックス (コード 6914・東証 1 部)

業績推移(連結)

(予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円 % 円)

決算期	売上高		経常利益		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率		伸び率	純利益	配当		
07.6 中	11,182	+13.9	2,503	+26.4	81.6	20.0	24.5	22.4
08.6 中	10,507	-6.0	1,401	-44.0	47.2	20.0	42.4	13.3
07.12	22,167	+9.2	4,075	+3.9	140.4	40.0	28.5	18.4
08.12(予)	23,000	+3.8	3,600	-11.7	123.8	40.0	32.3	15.7

赤外線センサの世界的トップメーカー

特 色...防犯用、産業用センサの専門大手で、赤外線センサの世界的トップメーカー。自動ドアセンサでは国内 50%、世界でも 30%のシェア。

08 年 6 月中間期は減収減益に

建築需要・設備投資の調整を受けて減収減益...08 年 6 月中間期は、国内外の建築需要や設備投資が調整色を強めたことを受け、売上高が 07 年 6 月中間期比 6%減となった。事業別売上は、防犯関連事業：50 億 4,200 万円(前年同期比 12.2%減)、自動ドア関連事業：26 億 7,000 万円(同 0.6%増)、産業機器関連事業：20 億 1,800 万円(同 3.9%減)。防犯関連事業では、国内では警備会社向けの画像製品機器や侵入検知器の販売が計画を下回ったほか、海外においても欧米での市場成長が鈍化したことや海外代理店の在庫圧縮、為替の影響(ドルやポンドに対して円高)によって、2 けた売上減に。自動ドア関連事業については、国内において客数情報システムが好調に伸びたものの、前年の改正建築基準法施行に伴う建設投資の遅れから自動ドアの設置台数が減少したことから自動ドア用センサ売上も軟調に推移。関連会社であったセキュマティック社の子会社化で海外向け売上が増加し、同事業全体の売上はほぼ前年同期並みとなった。産業機器関連事業については、海外市場は堅調に推移したものの、国内市場において景気減速による設備投資抑制の影響を受けて売上減となった。また、売上高減少や、今後の事業成長に向けた開発技術者増(07 年 6 月末：70 名 08 年 6 月末：100 名)および新製品開発のための積極的な開発関連投資を実施したことにより、経常利益は同 44%減と大きく減少した。

08 年 12 月期の通期は増収減益へ

通期では増収減益見通し...08 年 12 月期の通期については、防犯関連事業で下半期(08 年 7~12 月)に海外市場向け新製品が発売されることなどを背景に、売上高は 07 年 12 月期比 3.8%増と、期初予想(12.8%増)を下回るものの増収を確保できそう。事業別売上予想は、防犯関連事業：115 億円(07 年 12 月期比 3.2%増)、自動ドア関連事業：55 億 1,000 万円(同 6.5%増)、産業機器関連事業：43 億 6,000 円(同 5%増)など。一方、通期についても今後の事業成長に向けた開発関連投資を主とする販売管理費増が見込まれ、経常利益は期初予想の同 3.1%増から一転して同 11.7%減の見通し。なお、会社側の業績予想で前提とされる為替レートは、1 ドル = 105 円、1 ユーロ = 163 円。年間配当は 07 年 12 月期と同じく 40 円の予定。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。